

地域連携だより

診療科紹介

循環器内科

外来診療
担当表

富田病院



京都
博愛会病院



富田病院の循環器内科は、常勤医3名（富田（哲）理事長、岡田副院長、富田（伸）内科診療部長）を中心に狭心症、心筋梗塞、心不全、閉塞性動脈硬化症、不整脈などの検査から治療まで責任を持って行っております。

これらの疾患には、糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症、慢性腎臓病、睡眠時無呼吸症候群などと密接な関連があり、合わせて診療しております。心臓や大血管・末梢血管疾患への運動療法（心臓リハビリテーション）にも取り組んでおります。喫煙者には禁煙指導を行い、当院の禁煙外来にも紹介しております。

検査としては最新型心エコーで弁膜症や心機能等の診断、血管エコー（頸動脈、腎動脈、下肢動脈、下肢静脈）、食道エコー（左心房内血栓の有無等の検査）、血圧脈波検査で動脈硬化等の診断、トレッドミル運動負荷試験、24時間ホルター心電図（超小型タイプ）で狭心症、不整脈の診断、そして64列マルチスライスCTによる冠動脈血管造影で狭心症等を外来で診断しています。

糖尿病、脂質異常症、高血圧症、喫煙歴等のある方で、心臓に不安のある症状があれば、早めの心臓CT検査をお勧めしています。狭心症が疑われる場合は入院による心臓カテーテルが可能です。不整脈については、24時間心電図を記録するホルター心電図（超小型タイプ）3台を用い、自院で解析していますので

結果も早くできます。

循環器内科疾患と合併の多い睡眠時無呼吸症候群には簡易型睡眠時無呼吸検査にて外来で診断可能です。夜間のいびき、無呼吸、日中の眠気などの症状が気になる方はご相談ください。

治療としては、心不全や高血圧症などの循環器内科疾患に対しての薬物治療は勿論のこと、狭心症、心筋梗塞に対して心臓カテーテル治療（経皮的冠動脈形成術・ステント治療）は、一泊二日入院で行っております。最近では再狭窄予防の薬剤溶出性ステントを積極的に使用し、ほとんどの症例で再狭窄を認めなくなりました。薬物治療では改善が期待出来ない房室ブロックや洞不全症候群といった徐脈性不整脈に対しては心臓ペースメーカー植込み術を実施しています。心臓ペースメーカーは、年間20症例ほど施行しております。最近ではリードレスペースメーカー植込み術にも対応しています。当院は救急病院ではありませんが、通院されている患者さまの急変時には出来る限り対応しております。また他の医院や病院からの心不全、不整脈発作、不安定狭心症、急性心筋梗塞などの紹介も対応させて頂いておりますのでお気軽に御相談下さい。これからも地域の方々が健やかに生活していただけるよう努めて参ります。

富田病院 循環器内科 内科診療部長

富田 伸也

ドクター自己紹介 「循環器内科」

理事長 富田 哲也

昭和59年川崎医大卒業後、京大病院での研修医を経て国立姫路病院、滋賀県立成人病センターで循環器内科として主にカテーテル検査と治療をしました。その後、京都大学医学部大学院に戻り、循環器内科において心不全モデルの動物実験と基礎研究を行うと共に関連救急病院で心臓カテーテル検査や緊急カテーテル治療の応援をしていました。その後、医仁会武田総合病院の循環器内科を経て、平成7年より富田病院に勤務しています。現在は高齢化が進み、内科全般を中心にほぼ全て幅広く診させていただいており、在宅訪問診療にも力を入れています。

内科部長 富田 伸也

◎出身地:京都府京都市 ◎経歴:京都府立医科大学附属病院、近江八幡市立総合医療センター循環器内科、京都第一赤十字病院循環器内科医長を経て令和7年4月より富田病院勤務。
◎専門医認定・資格等:日本内科学会認定内科医、産業医、医学博士号取得、日本循環器学会認定循環器専門医、緩和ケア研修会修了、Total Nutrition Therapy研修会修了、心血管インターベンション治療学会(CVIT)所属など
◎主に心臓のカテーテル検査や治療を専門として循環器内科を中心に幅広く内科診療を行っております。循環器の疾患は、予防ができる疾患です。原因である高血圧症や不整脈、糖尿病、脂質異常症に加えて慢性腎臓病、睡眠時無呼吸症候群などの幅広い疾患ごとの適切な管理や指導を行い、少しでも地域の方々の健康を守るためよりよい医療を心掛けて参ります。

副院長 岡田 幾太郎

◎出身地:石川県かほく市
◎職歴:2004年から富田病院勤務
◎専門医認定・資格等:総合内科専門医・循環器専門医・産業医
◎趣味・特技:テニス・読書・ドライブ
◎今後の抱負:昭和33年生まれで昭和58年に医師となり、すでに四十年以上働いてきました。富田病院での勤務も二十年を超えました。しかし、今でも初めて診る病気に遭遇することがときどきあります。これからも勉強を怠ることなく、広い視野を持って患者さんの診療に携わっていきたいと思っております。

医療法人 十倉医院

院長 十倉 孝臣

長年勤めた京都第二赤十字病院・循環器科、救命救急センターを退職し、開業医としてのキャリアをスタートさせてから20年以上が経過したが医療を取り巻く環境もずいぶん変わってきたと実感している。

厚生労働省は2055年には全人口の4割近くが高齢者になると推測している。超高齢化に伴い心不全患者も急増しており罹患率は高齢になればなるほど高くなり、現在、日本では心不全患者数は約120万人と言われている。がん罹患患者数が約100万人であることから、いかに多いかわかる。高齢者数は今年2025年には65歳以上の人口が30.3%、75歳以上は13.0%に達するとされており、心不全患者はさらに増加し2035年には約130万人程度になると予想されている。

このような心不全患者の増加に対し、医療従事者や病床数の不足から「心不全パンデミック」が予想され、心不全にならないために国を挙げての予防計画や高度医療を提供する中核病院から、回復期、慢性期、緩和ケアなどを担う地域の病院やクリニック、訪問診療などの在宅医療など、心不全の状態に合わせて治療を受けていけるように再度、医療連携の構築を考えていく必要があると思われる。

先日、大阪で日本臨床内科医会総会があり、特別講演のなかで大阪大学大学院・医学系研究科循環器内科学教授の坂田泰史先生のご講演を拝聴する機会を得たが、その中で心不全治療の最終目標は、単なる生存期間の延長だけでなく患者の「幸せ（ウェルビーイング）」が最も重要であり、ハーバード大学の長期研究でも示されている通り「良好な人間関係」が幸福や健康に最も寄与し、自身も心不全患者に対してガイドラインに基づいた適切な治療を行っているも孤独や独居が予後に悪影響を及ぼしているとのお話であった。

地域医療について色々考えさせられる講演であり、それもあってか最近はガイドラインの遵守以外にも個別化医療の重要性を再認識しつつ、積極的な人間関係を創出してもらえようという左京区の地で地道に診療を行っている毎日である。

富田病院・京都博愛会病院をはじめ、病院事務の方々、ケアマネージャー、訪問看護師、理学療法士の皆様には日頃から大変お世話になっており、これからも地域医療を支えるチームの一員として連携していきたいと考えている次第です。引き続きよろしく願います。

◎診療科:循環器内科・小児科・内科 ◎休診日/日曜・祝日

	診療時間	月	火	水	木	金	土
午前診療	9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
午後診療	18:00~20:00	○	○	○	△	○	△

〒606-8115 京都市左京区一乗寺里ノ西町9-2
電話:075-781-5650 駐車場:2台(無料)



CT検査・MRI検査「インターネット予約」のご案内

京都博愛会病院および富田病院では、マルチスライスCT(16列・64列)およびMRI(1.5テスラ)の地域内共同利用を促進するため、インターネットでの予約受付を実施しています。

初めて御利用になる場合は、大変恐れ入りますが各病院の放射線科へご連絡のうえ、IDとパスワードの発行を受けて頂きますようお願いいたします。

◎京都博愛会病院 [MRI・CT検査] 781-1131(代)

◎富田病院 [CT・心臓CT検査] 491-3241(代)

